

質 問 回 答 書

件名： 令和7年度国立環境研究所端末管理環境構築業務

番号	質問対象書類	質問対象項目	質問内容	回答内容
1	仕様書	仕様書 P.2 8. (6)「業務に用いる電算機・・・」	弊社作業端末は持ち出し前提となっており、施錠やワイヤーロックなどの盗難防止はしておりませんが、問題ないでしょうか？（不正対策や脆弱性管理等の要件は満たしております。）	施錠やワイヤーロックを必ずしも求めているものではありません。盗難防止としての例示であり、その用途や状況に合わせた対策がされていることを求めています。 例) ・退勤時に鍵付きロッカーやキャビネットに保管 ・物理的なセキュリティ対策（入退室管理、監視カメラ） ・パソコンデータの暗号化とアクセス制限 ・持ち出しルールの明確化（承認・記録）
2	仕様書	仕様書 P.1 5 (2)「ポリシーの構成や、インストールが必要なソフトウェア等の詳細設定値はNIES担当者との打合せで確定すること。」	詳細設定値の協議の際、インストールするソフトウェアについてメーカーへ問い合わせなど必要な場合、サポート窓口を利用させていただける認識でよろしいでしょうか。	はい。請負者から直接の問合せが実施できない場合には、NIES担当者経由で問合せを実施いたします。
3	仕様書	仕様書 P.1 5 (3)「新規端末調達の場合と、既存の端末を管理する場合と、それぞれについて手順が分かるようにすること。」	既存の端末は、現在利用者が利用中の端末ではなく、貴研究所の在庫端末や本調達で構築する環境でAutopilot展開された端末である認識でよろしいでしょうか。	基本的にAutopilotは初期設定時に利用するものと考えますので、ご認識の通り、利用中の端末は含めず、在庫や新規調達等でAutopilot展開された端末が対象とご認識をいたします。 また、既存の端末については、（在庫端末と変わらないと思われるが）初期化するタイミングでAutopilot展開することも考えられますので、それも考慮することは必要です。
4	仕様書	仕様書 P.2 6(1)「業務報告書」	業務報告書は指定様式がありますでしょうか。	指定はございません。